専大スポーツ

No. 366

大会結果、予定は体育会ホームページ（専大ホームページ「スポーツ」からアクセス）でご確認ください
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/)でも大会結果を配信しています

河名 グレコ59kg級 が 優勝

専大躍進メダル6個

優勝の瞬間、ナンバーワンポーズを決める河名

全日本学生レスリング選手権＝8月25～28日、堺市・金岡公園体育館

グレコローマンスタイル59kg級で河名真寿斗（文4・三次高）が優勝し、初の学生タイトルを手にした。

準決勝は互いの戦術を知り尽くした松井涼（商3・岐阜工高）との専大対決となった。前日の試合で片目を負傷した河名だったが、華麗な投げ技からのフォール勝ちを決めた。決勝は、準決勝で桑山裕貴（商2・中津商高）を破った日体大・小林と対戦。残り30秒あまりで2―4と後のない状況から相手の技を潰し、そのままニアフォールまでもっていき逆転。「5・4・3・2・1」とカウントが場内に響き、河名は初優勝を喜んだ。

但野は2位

フリー61kg級

フリースタイル61kg級の準決勝では但野航（経済4・岐南工高）と吉澤拳斗（経済2・網野高）が対戦。接戦となったが、先輩の意地をみせた但野が4―2で判定勝ち。但野は決勝で敗れ2位となった。

グレコ59kg級で松井、桑山が、同85kg級で与那覇竜太（経営4・浦添工高）が、フリー61kg級で吉澤がそれぞれ3位となり、今大会で専大は金1、銀1、銅4の計6個のメダルを獲得。選手層の厚さを見せつけた。（斉藤葵・商3＝写真も）

女子200メートル平泳ぎ

服部3連覇

関東学生選手権水泳競技大会＝8月6～8日、横浜国際プール

女子200㍍平泳ぎで服部友香（商3・八王子学園八王子高）が2分28秒82で優勝。同種目3連覇を達成した。

服部は予選を1位通過。決勝では昨年のタイム（2分29秒20）を上回る泳ぎでゴールした。100㍍でも3位。今後の活躍に期待がかかる。

各種目の順位ポイントで競う学校対抗では、女子が5位となった。

その他の上位入賞者は次の通り。

【女子400㍍自由形】中島みなみ（経営1・湘南工科大学附高）＝3位

【同200㍍個人メドレー】平岩里菜（商4・八王子学園八王子高）＝3位

【同400㍍メドレーリレー】鶴川美帆（文4・日本大学藤沢高）・服部・田中亜季（法3・明星学園高）・木澤理寿夢（経済1・武蔵野高）組＝3位

決定Tで連勝し5位

日本学生選手権水泳競技大会水球競技（インカレ）＝9月2～4日、相模原市立総合水泳場

5位決定トーナメントに回るも、意地をみせ、明大、成蹊大に連勝し、5位となった。

今年度は「インカレ3位以内」を目標に掲げ、社会人・大学の強豪チームが参戦したJAPAN WATER POLO LEAGUE（JWL、2～8月、生田キャンパスほか）では7勝2敗で3位と健闘。今大会を迎えた。

苦しいトーナメントの組み合わせだった。初戦となった日大戦は前半に点を重ね、11―10で勝利をつかんだ。しかし続く日体大戦では力の差を見せつけられ、9―28と大敗。5位決定トーナメントへ回った。

活躍した青山大輝（経済3）＝写真はJW

4年次生を筆頭につらい時こそ楽しみながら勝利を目指してきた。ここで喫した1敗は、先輩たちの背中を見てきた下級生が取り返してくれるだろう。（斉藤葵・商3）

開幕戦は連敗

東都大学野球秋季リーグ戦＝9月5、6日、神宮球場

東都覇者・亜大の壁は厚く、専大は連日の3時間ゲームをものにできずに開幕連敗スタートとなった。

投手陣は精彩を欠き、2試合で18失点。しかし計24安打の打撃は好材料があった。春から3番に座る福永裕基（文2・天理高）が外角高めに抜けたカーブを「うまく反応できた」と左翼席にリーグ戦初本塁打を放てば、開幕スタメンに抜てきされた1年次捕手の深水裕貴（経営1・熊本工高）もリーグ戦初ヒットを含む9打数4安打。また、途中出場ながら岡本良樹（経営1・専大松戸高）も2打点。3人は今後のキープレーヤーになりそうだ。（飯塚恒成・文3＝写真も）

箱根駅伝予選会 来月15日に開催

夏期合宿で走りを磨く＝長野県伊那市で

10月15日に東京都立川市の国営昭和記念公園で、第93回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の予選会が開かれる。

今春、関東学生連合で本大会の2区を走ったエースの丸山竜也（商4・専大松戸高）は「昨年の予選会はアップダウンのある後半のコースからペースが落ち始めたため、夏期合宿では起伏のあるクロスカントリーコースでのトレーニングや基礎体力作りに取り組んだ。自分が前に出て勝負し、タイムを稼ぐという自覚を持ち、後悔のない走りを見せたい」と語った。

合宿を経てたくましく成長した彼らの走りに注目してほしい。（千葉ますみ・商3）

1部復帰を

関東大学ラグビー

関東大学春季大会Cグループは、3位に終わったものの、関東大学リーグ戦セブンズ（7人制ラグビー）では昨年敗れた1部校を次々に倒し準優勝を果たした。

8月には北海道、長野県菅平高原で約1カ月にわたる合宿を行ってきた。

「昨年は1部でいろいろな経験をした。選手層が増した今季、必ず1部に戻る」と村田亙監督。

北海道合宿での練習試合＝8月14日、北海道バーバリアンズ戦

2部降格の悔しさをバネに、専大ラグビー部は最短での1部復帰を目指す。復活の物語が始まる。（谷田祐樹・法2）

【試合日程】▽9／24（土）＝白鷗大戦（埼玉県営熊谷ラグビー場）▽10／9（日）＝國學大戦（専大伊勢原グラウンド）▽10／16（日）＝国士大戦（同）▽10／30（日）＝東洋大戦（拓大グラウンド）▽11／5（土）＝立正大戦（秋葉台公園球場）▽11／19（土）＝山梨学院大（相模原市ギオンスタジアム）

専Station 第16号発行

9月12日に最新の「専Station」第16号を発行しました。「専Station」は専大スポーツ編集部が年2回発行するフリーペーパーです。

巻頭にはプロ注目の野球部、森山恵佑主将（外野手）を特集。また、画像投稿アプリをもじった「sensupogram」や地元同士の選手が語り合う「ジモトーク」など、ここでしか見ることができない体育会の選手たちの魅力をふんだんに詰め込みました。試合観戦のお供にいかがでしょうか。本誌はキャンパス内のラックなどで、どなたでも手に取ることができます。また、定期購読も随時受け付けています。（専大スポーツ編集長）

OB4人合格

ゴルフプロテスト

日本プロゴルフ協会（PGA）の最終プロテストが8月30日から9月2日まで、福岡県宮若市のザ・クラシックゴルフ倶楽部で行われ、ゴルフ部OBの4選手が合格した。

【合格者】

鶴谷竜一さん（平24経営）

西田幸一さん（平24経営）

坂田俊介さん（平26経済）

小浦和也さん（平27商）